

まつりを つくる

京都文化芸術都市創生計画
文化ボランティア

第26回国民文化祭・京都2011推進フォーラム

開催日時 平成22年3月14日(日) 13時開場 14時開始

開催場所 芝罘会館 稲盛ホール (左:吉田近衛町 京都大学医学部構内)

参加費 無料

申込方法 電話、FAX又は電子メールにて、左記までお申し込みください。お申し込みの際は、郵便番号、住所、氏名、電話番号をお伝えください(〒申込の宛先を明記)。

京都いつでもコール TEL: 075-661-3755 FAX: 075-661-5855

URL: <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

申込締切 平成22年3月4日(木)

定員 200名。応募多数の場合は抽選(当選者のみみ参加票をお送りします。)

主催 京都市、第26回国民文化祭京都市実行委員会



1 基調講演「文化芸術都市の創生と市民による文化のちから」
講師 平田オリザ (作家、大阪大学教授、内閣官房参事)

2 パネルディスカッション「市民がつくるまつり」

まつりの創造をリードするパネリストたちが、それぞれの事例を通じ、まつりとの関わり方について、文化の創造について、熱く語り合います。
パネリスト 中井敬二 (京都・祇園祭ボランティア21副会長)
平戸誠一郎 (横浜トリエンナーレ2008サポーター統括代表)

阿井茂 (静岡県民部理事(国民文化祭担当))

第24回国民文化祭静岡県実行委員会事務局長)

コメンテーター 平田オリザ

コーディネーター 平竹耕三 (京都市文化芸術都市推進室長)

講師及びパネリストのプロフィール

■ 平田オリザ (劇作家、大阪大学教授、内閣官房参事)

1963年、東京都生。大学在学中に劇団「青年団」を結成し、こまばアゴラ劇場を拠点に活動。1985年「東京ノート」で岸田國士戯曲賞受賞。2003年「その河をこえて、五月」で朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。フランスを中心に世界各国で作品が上演・出版されている。その演劇ワークショップの方法論は、2005年から中学国語教科書にも採用され、年間30万人以上の子供たちが教室で演劇を創作している。

■ 中井敬二 (京都・祇園祭ボランティア21副会長)

1955年、京都府生。京都の青少年活動団体の一員として、祇園祭曳き手ボランティアに創設時から携わる。NPO法人日本自立生活センター支援事業所監事。

■ 平戸誠一郎 (横浜トリエンナーレ2008サポーター統括代表)

1953年、神奈川県生。「社会教育」及び「市民協働」の観点からアート関連の活動に参加。アサヒ・アート・フェスティバル実行委員、ヨコハマ国際映像祭2009サポーター。

■ 阿井茂 (静岡県民部理事(国民文化祭担当)、第24回国民文化祭静岡県実行委員会事務局長)
1949年、静岡県生。1970年、静岡県に入庁し、県民部県民生活局長、県民部管理局長等を歴任。

